

公式WEB <http://www.videoner-biznet.com>

⌚ 5月WEB会議のご案内

「5月勉強会・撮影台本」、「臨時総会日程」他

勉強会のテーマは「撮影台本」、講師は脇田です。会員のみなさんも、機材リスト・会場図・撮影台本などのさまざまな資料を作成して撮影に臨まれていると思います。今回の勉強会では脇田流の「撮影台本」の作成方法についてご紹介します。過去に撮影でうまくいかなかった経験から、どうやればキッチリ撮影できるか悩みましたが、行きましたのが撮影台本の作成でした。こんな風にやっているんだという参考になれば幸いと思います。いろいろなやり方を見てみたいので、みなさんが自身の撮影の事前資料もできれば是非ご用意ください。

会費について、5月定例会に会員から臨時総会開催要望の説明がある予定です。

ZOOMの接続に不安のある方は、15分前に開場致しますので、接続テストをお願いいたします。

セキュリティ上頻繁なアップデートが行われますので、ZOOMアプリは最新版をインストールしてご使用ください。

ご不明の点は脇田まで、遠慮なくお電話下さい。スムーズな会議運営にご協力ください。

次回WEB会議

2021年5月14日（金）19時～21時

勉強会今後の予定（ネタを募集中です！）

- ・ホールを借りて、音声収録（菅澤）
- ・ネット配信のやり方（赤岡）
- ・佐藤さんの建物写真の仕上げ方（吉岡）
- ・合唱の撮影方法（吉岡）

（カッコは提案された方です）

👤 4月のご報告

「勉強会・水平の取り方（講師：上河さん）」

今月の参加者

高橋、近藤、福田、上河、赤岡、吉岡、佐藤、野上、脇田

今月の勉強会は上河さんによる「水平の取り方」講座で、ホール撮影を例にあげての解説でした。客席のセンター位置が確保できる場合はよいのですが、主催者やホールスタッフ、スチールカメラマンさんとの兼ね合いで、確保できない場合があります。そんな時の水平の取り方について、手作りの資料にて詳細に解説していただきました。水平の取り方ひとつでも奥が深いものだなあと感

じられる講座でした。

また、臨時総会開催日時は5月のWEB会議にて決定するということになりました。

以上敬称略 文責：脇田

👤 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

吉岡さん「よっしーのお手伝い日記（14）」

野上さん「HVCビデオニュース4月号」

が続きます！

（文責各筆者）

西湘のビデオ屋稼業

2021.4月 高橋 昌一
(含むことあり：個人的、感覚的話し)

小田原の桜もここ数日で一斉に花開きました。本当に華やかです。

●3月、長年愛用していたソニーの“初”空間光学手振れ補正搭載小型カメラ、HXR-NX30Jをとうとう更新した。ほぼ日常的に使用して7~8年。業務機として標準装備されていたガンマイクやライン入力はほとんど利用することが無かったものの、気軽に使って所有カメラの中では使用頻度一番のカメラだった。お泊り保育などの撮影はほぼこのカメラ一台で、難なく済ませることが多かった。ファインダーを覗かなくとも、液晶モニターのみでおおよその撮り具合の感覚がつかめていた唯一のカメラ。

途中、修理にも二度ほど出したがいよいよ調子が良くなくなり「長年お疲れ様でした」とあいなった。同品番のカメラはすでに生産終了なので後継機は、同サイズ、同じワイド感のFDR-AX60を選択する。業務機枠のNX30Jと民生機枠のAX60。一長一短はあるものの、過去の経験値からは結局、機材はまず使い慣れることが一番、と理解している。

●実は数年前に4K狂騒的カメラのFDR-AX100を購入した経緯がある。発売にちなんで大特集を組んでいたビデオサロンの記事にも隅から隅まで目を通し、大いなる期待を持っての入手。しかし、何だかどうも使い勝手の良くないカメラだった。とにかくマニュアル操作へのアプローチを何だかややこしく感じてしまい、稼働率はほぼ上がらずじまいでは過ぎていった。

だがある時、「AX100は民生機枠カメラ」ということにハッと気がつき、カメラ操作のアプローチをそれまでの業務機枠から、民生機枠へ変えてみるとガラリと違った好印象のカメラになっていった。

これは個人的な感想だが、要するに民生機のAX100を業務機的な感覚でのマニュアル操作を行うには手順がやや面倒になってしまう。一方、民生機と割り切って操作するとかなり使いやすい面も出てくるカメラだった。

このように、思い込みや固定観念には捕らわれている最中は、そのこと自体に中々気が付きにくく、時には思考範囲を狭くしていることもある。特についつい感情的になってくると、必要以上に製品への不満へとシフトしていくことも度々あった。

〈ところでチチ情報〉

AX60 の購入に際してチェックした情報（ソニーHP）では、（AX60 のことではないようですが）部品供給が間に合わないために一部のハンディカムが「納期に時間がかかります」、アクションカムに至っては 1 機種（AS50）を残して他は「生産完了」となっていました。

さらに、動画一眼カメラには殆ど造詣はないのですがウェブサイトからは何となく賑やかさを感じる一面、ビデオカメラでは、発売から 4 年半経過したとはいえる NX5R が後継機のアナウンスもなくラインナップから外れているなど、ビデオカメラには何か今までとは違う印象を受けています。

●話題はガラッと変わって。

会計ソフトは長年（2014 年からつい最近まで）、更新することなく使用していたが、近藤さんとの会話のなかでたしか、「会計ソフトは最新版＋サポート付にしておくと何かとよい」があり、今年度の確定申告をきっかけに久しぶりに、サポート付の最新版に更新。特に関心のあったレシート等のスキャナ取り込みの手順を詳しく聞いてトライ。大まかな概念を理解するまでにやや手間取ったが、サポートに 2 度（合わせて 90 分も）電話しながら操作を教えてもらった。

手順と多少のコツさえマスターしてしまえば、レシートのスキャナ取り込み処理のその合理さをすっかり気に入ってしまった。

●このところの地震（2/13、3/20）では我が家も多少の揺れを感じ、組み上げたスチールラックに各機材をセットしてある編集部屋も少々心配になってきた。（機材も少しずつ増えていきその重量にも段々と気にかかっていた）

そこで一番の重量物でもあるブラウン管 TV をようやく取り扱うことにした。14 インチではあるが今どきの状況下では結構重たい部類の機器になっている。以前はその 14 インチをなんとラックに 3 台も並べて編集を行っていた。その名残の 1 台で DVD のブラウン管画質チェック用にと、ズルズルと時々使っていたがさすがにもう必要ないかと思い至る。

古い機器は他にもあり、DVD レコーダー（2003・2007 年製）、BD レコーダー（2011 年）、ポータブル BD プレーヤー（2013 年）と並ぶ。使用しているうちにいつの間にかに経年したものだが、今の主な使い道は納品 DVD や BD の再生チェック用途。とにかくこれだけ古いレコーダーで再生チェックを行って OK だと、安心して出荷できる。

ちなみに昨年暮れから、DVD の仕様をインターレースからプログレッシブへ完全移行したが、この時はこれらの他にパソコンでの再生チェックも加えた。ウェブサイトを覗いても、DVD のプログレに関する“明快”な記載が見当たらない中、この手順を踏まえ、勝手に当社基準として出荷している。気にかかっていた再生不良問題は起きてはいない。

よっしーのお手伝い日記 (14)

アソシネット株式会社 吉岡

2021年3月28日

学校や幼稚園などのビデオ撮影の仕事をしていると、たいてい、写真屋さんと一緒にになります。

以前、ビズネットの先輩から「写真屋さんに話しかけられるようになれば、一人前」っていうようなことを言わされた気がしますね。

そういえば、この頃は、挨拶だけでなく、写真屋さんから話しかけられることも増えたし、撮影の現場で、写真屋さんに気を使ってもらうことも増えたように思いますね。

以前はね、わざとではないんでしょうけど、カメラの前に出られるとか、隣で がしがしシャッターを切られたりね。私は雇われビデオマンなので、使えない素材を提供できないのに、涙目で耐えることもしばしばでした。でも、最近は写真屋さんがいても、まあ、お互い商売なので、好きにやってください、気を使わないでね、と言える余裕は出てきたのかな。

この前の、前田さん(前田ビデオ工房)の こどもミュージカルの公演。1コマ約3時間、昼夜2公演を3日間。けっこうタフな撮影だったけど、ここにも、写真屋さんがいて、写真屋さんはゲネプロからいたので、4日間という、なかなかの大仕事で。

休憩中に、世間話をしたりしたけど、その写真屋さんは普段は幼稚園とか学校の写真を撮ってるそうで、

「幼稚園の卒園式・・・」って話を振ったら、

「泣けちゃうんですよねー」って返ってきて、

「やっぱりそうですか！自分もそうなんですよ」って感じの会話。でも、カメラマンとしては、淡々と撮れた方が良いのか、とも思うし、だけど、やっぱり、写すものが好きな方が撮り方は絶対ちゃうよな、って話をしたわけですよ(笑)

公演が終ったころには、お互いぐったりで。また、どこかで、って別れたわけですが。

写真屋さんとビデオ屋さんは、お客さんに対しては、似たような境遇なので、お互いに良いものができるようにすり寄ればね、って思う。

でも、見てると、他の写真屋さんもビデオ屋さんも、淡々と作業してるよねえ。わいわいやってるのってビズネットのメンバーだけじゃないの？まあ、そっちの方が、仕事は楽しいけどさ。



HVCビデオニュース

ビズネット会員歴4年目
八王子映像時代から入会

現在は八王子ビデオサークル[HVC]代表

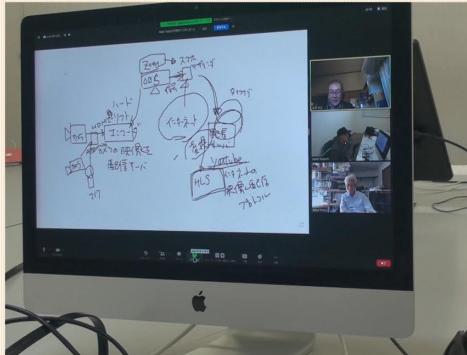
野上五十満



SONY PXW-Z150

ビズネットに入っていちばん最初に学ぶ事は失敗をどうやって防ぐかという点です。これは誰もが教訓をお持ちですので役に立ちましたね。どういうことかというとカメラの取扱方法からご自身の健康管理、はたまた無理難題に対してどう対応したか等々です。一番嬉しかったのは現場への同行と撮影を体験学習したことです。厳しく教えられると身につくものですね。真っ暗な会場でもカメラの設定が出来る事。小型のライトを口にくわえて実演。撮影舞台によって会場内の照明は当然暗くなります。誰もが経験するステップを現場で体に覚え込むそれを会員が口に出して言ってくれる。宿泊での研修旅行も有意義な時間です。その時はみんな幼児に帰るのでしょうか。楽しい思い出を作る事ができます。ビズネットにおける研修旅行先はホームページに掲載されておりますがどの旅行も印象深く心に残る物です。

①2017/09/05 20周年記念行事（箱根） ②2018/09/27 親睦旅行（鴨川）
 ③2019/09/05 親睦旅行（鬼怒川）
 2020年はコロナで中止▼20周年の記念行事が私の入会の記念日です。



LIVE配信結線図 ZOOM教室



SLIK V373
マルチポッド

令和4年いよいよ新年度が始まる。色々な意味で気分を変えられて新しい世界が広がる季節でもあります。人事異動もその一つですね。辞令と言いますね。これを持って新しい部署に移ることになります。配置転換とも言いますね。私も通信教育課から総務課に異動した時は胸が高鳴りました。そして驚いたことはどの所管に属しない事（職務）は総務課が行うという事になっているという。困りごとの受付も総務になります。年に一度開催される全国研修会・教育センター50年史等の編集作業等、情報課にも半年勤務して63歳で定年を迎え退職金も頂けて円満退職致しました。宝物は心で感謝を表わすことが出来た事ですね。ITのスキルやセミナー開催の知識は教育センターで修得できたのが幸いでした。



DVD 展示/再生中 日野市民会館にて

コロナ禍で過ごす2年目

時間はどんどん過ぎて行きます。こんな時は旅に出て気ままにビデオを撮る事も必要ですね。

「撮影・編集・鑑賞」これが映像を楽しむ者の本分です。こういう期間であるからこそ静かに自分を見つめる事も出来るはずです。人それぞれだと思いますが自分の場合は過去から未来を見つめよう。歴史は繰り返す。

楽しい時間は必ずやって来る。へこたれな。救いの神がきっと現れる。難しいのは愛する技術ではなく、愛される技術である。多くの人に共通した難問であり、最も知りたいことなのです。